整理番号	263852	製品名	39209U0300 グリース
作成改訂日	2023年7月11日	会社名	住鉱潤滑剤株式会社

安全データシート(SDS)

1 製品及び会社情報

製品名 : 39209U0300 グリース
整理番号 : 263852
会社名 : 住鉱潤滑剤株式会社
住所 : 〒105-0004 東京都港区新橋5-11-3 新橋住友ビル
電話 : 0120-954-528
FAX : 03-5401-0471
メールアドレス : Lub_SUMICO@smm-g.com
推奨用途及び使用上の制限 : 潤滑剤

2 危険有害性の要約

GHS分類

生殖毒性 : 区分2
特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露) : 区分1
特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露) : 区分2
水生環境有害性 短期 (急性) : 区分3
水生環境有害性 長期 (慢性) : 区分3

記載のないものは分類できないまたは区分に該当しない。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル

健康有害性

注意喚起語

危険

危険有害性情報

生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
授乳中の子に害を及ぼすおそれ
臓器(単回ばく露区分1)の障害
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(反復ばく露区分2)の障害のおそれ
水生生物に有害
長期継続的影響により水生生物に有害

3 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分

混合物

成分及び含有量(wt%)

物質名	CAS No.	含有量(wt%)
鉱油	企業秘密	80～90
リチウム複合石鹸	企業秘密	5～15
二硫化モリブデン	1317-33-5	1～5
2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール	128-37-0	1～5

整理番号	263852	製品名	39209U0300 グリース
作成改訂日	2023年7月11日	会社名	住鉱潤滑剤株式会社

4 応急措置

吸入した場合

新鮮な空気の場所に移し、体を毛布などで覆い、保温して安静に保ち、必要に応じて医師の診察を受ける。

皮膚に付着した場合

大量の水および石鹸で洗い流す。

外観に変化がみられたり、痛みがある場合には医師の診察を受けること。

目に入った場合

直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。瞼の裏まで完全に洗うこと。

出来るだけ早く医師の診察を受けること。

飲み込んだ場合

無理に吐かせないで、医師の診察を受ける。口の中が汚染されている場合には、水で充分に洗うこと。

5 火災時の措置

消火剤

粉末、炭酸ガス、泡、乾燥砂

特定の消火方法

水を消火に用いてはならない。

可燃性のものを周囲から早く取り除く。

指定の消火剤を使用すること。

消火活動は風上より行う。

初期火災には粉末、二酸化炭素、乾燥砂等を用いる。

大規模火災には泡消火剤を用いて空気を遮断する。

高温にさらされる密封容器は水を掛けて冷却する。

消火を行う者の保護

適切な保護具(耐熱性着衣)を着用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項

作業の際は適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。

環境に対する注意事項

河川等に排出され、環境への影響を起こさないよう注意する。

除去方法

付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を速やかに取り除く。

着火した場合に備えて適切な消火器を準備する。

衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。

乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させ、大量の場合は盛り土で囲って流出を防止する。

漏出物は密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。

付着物、廃棄物等は関係法規に基づいて処置をする。

風上から作業し、風下の人を退避させる。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

換気のよい場所で取り扱う。

周囲での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。

静電気対策のため装置等は接地し、電気機器類は防爆型(安全増型)のものとする。

取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

取扱い場所の近くに緊急時に洗顔及び身体洗浄を行うための設備を設置する。

整理番号	263852	製品名	39209U0300 グリース
作成改訂日	2023年7月11日	会社名	住鉱潤滑剤株式会社

漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させない。
取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。
休憩場所には手袋等の汚染された保護具を持ち込んではならない。
皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないよう適切な保護具を着用する。
密閉された場所における作業には十分な局所排気装置を付け適切な保護具を着けて作業すること。

注意事項

発散した蒸気(粉じん)を吸い込まないようにする。
屋外での取り扱いは、できるだけ風上から作業する。

安全取扱い注意事項

容器を転倒させ、衝撃を加え、又は引きずる等の粗暴な取扱いをしない。
容器はその都度密栓する。

保管

適切な保管条件

直射日光を避ける。
火気熱源から遠ざける。
通気のよい場所で容器を密閉し冷暗所に保管する。
防湿に留意する。
長期間の保管を避ける。

安全な容器包装材料

特になし。

---

8 暴露防止及び保護措置

設備対策

取扱い設備は防爆型を使用する。
排気装置を付けて蒸気が滞留しないようにする。
取扱い場所の近くには高温、発火源となるものが置かれないような設備とすること。
屋内作業の場合は、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置などにより作業者が暴露から避けられるような設備とすること。

管理濃度

物質名	管理濃度	許容濃度(ACGIH)
鉱油	データなし	TWA 5mg/m3(mist)
二硫化モリブデン	データなし	TWA 3mg/m3
2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール	データなし	TWA 2mg/m3(IFV)

保護具

呼吸器用の保護具

必要に応じて有機ガス用防毒マスクを着用する。

手の保護具

耐油性手袋

目の保護具

普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型

皮膚及び身体の保護具

長袖作業服等

適切な衛生対策

作業中は飲食、喫煙をしない。
マスク等の吸着剤の交換は、定期又は使用の都度行う。

---

9 物理的及び化学的性質

形状 : 半固体
色 : 黒色

整理番号	263852	製品名	39209U0300 グリース
作成改訂日	2023年7月11日	会社名	住鉱潤滑剤株式会社

臭い : オイル臭
pH : データなし
沸点(℃)又は初留点及び沸騰範囲 : データなし
融点/凝固点(℃) : データなし
引火点(℃) : ≧ 200 (基油)
自然発火点(℃) : データなし
爆発特性(%)
　下限 : データなし
　上限 : データなし
蒸気圧(KPa) : データなし
蒸気密度 : データなし
密度(g/cm3) : 0.92
溶解性 : 難水性
オクタノール/水分配係数 : データなし
分解温度 : データなし
動粘性率 : データなし
相対ガス密度 : データなし
粒子特性 : データなし

10 安定性及び反応性

安定性
　通常条件で安定
反応性
　自己反応性なし
避けるべき条件
　火気、酸化剤との接触
危険有害な分解生成物
　燃焼等によりCO(一酸化炭素)、NOx(窒素酸化物)、SOx(硫黄酸化物)等が発生するおそれがある。

11 有害性情報

物質名	急性毒性(経口)	急性毒性(経皮)	急性毒性(吸入:ガス)	急性毒性(吸入:蒸気)	急性毒性(吸入:粉塵、ミスト)	皮膚腐食性/刺激性	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
鉱油	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
リチウム複合石鹸	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
二硫化モリブデン	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない	分類できない	分類できない
2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない	区分に該当しない	区分2B

整理番号	263852	製品名	39209U0300 グリース
作成改訂日	2023年7月11日	会社名	住鉱潤滑剤株式会社

物質名	呼吸器感作性または皮膚感作性	生殖細胞変異原性	発がん性	生殖毒性	特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)	誤えん有害性
鉱油	呼吸器感作性:分類できない、皮膚感作性:分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
リチウム複合石鹸	呼吸器感作性:分類できない、皮膚感作性:分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
二硫化モリブデン	呼吸器感作性:分類できない、皮膚感作性:分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール	呼吸器感作性:分類できない、皮膚感作性:分類できない	分類できない	分類できない	区分2	区分1(神経系)	区分2(肺,肝臓)	分類できない

12 環境影響情報

物質名	水生環境有害性短期(急性)	水生環境有害性長期(慢性)	オゾン層への有害性
鉱油	分類できない	分類できない	分類できない
リチウム複合石鹸	分類できない	分類できない	分類できない
二硫化モリブデン	分類できない	分類できない	分類できない
2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール	区分1	区分1	分類できない

13 廃棄上の注意

残余廃棄物の廃棄方法

廃液、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理する。
容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
排水処理、焼却装置等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託すること。
廃棄物等を焼却処理する場合は、有毒ガス発生のおそれがあるため、適切な除去装置のある焼却炉を使用すること。

汚染容器・包装の廃棄方法

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理する。

整理番号	263852	製品名	39209U0300 グリース
作成改訂日	2023年7月11日	会社名	住鉱潤滑剤株式会社

14 輸送上の注意

国内規制

陸上輸送

消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。

海上輸送

船舶安全法等に定めれている運送方法に従う。

航空輸送

航空法等に定められている運送方法に従う。

輸出

輸出貿易管理令 別表第1の16の項に該当

国際規制

国連分類

該当しない

国連番号

該当しない

容器等級

該当しない

---

15 適用法令

高圧ガス保安法

該当しない

消防法

非危険物(指定可燃物 可燃性固体類)

労働安全衛生法

法57条の2(名称等を通知すべき有害物) 労働安全衛生法2024年4月1日より改正

鉱油

モリブデン及びその化合物(二硫化モリブデン)

2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール

法57条(名称等を表示すべき有害物) 労働安全衛生法2024年4月1日より改正

鉱油

モリブデン及びその化合物(二硫化モリブデン)

2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール

有機溶剤中毒予防規則

該当しない

化学物質管理促進法(PRTR法) (2023年4月1日より改訂)

第1種指定化学物質 No.505 モリブデン及びその化合物(モリブデンとして) : 1.2 %

第1種指定化学物質 No.232 2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール : 1.1 %

毒物及び劇物取締法(2023年6月1日より改正)

該当しない

粉じん障害防止規則

該当しない

水質汚濁防止法

施行令第3条生活環境汚染項目(排水基準) 鉱油 5mg/L以下

指定物質(法第2条第4項、施行令第3条の3)【46 モリブデン及びその化合物】

下水道法

施行令第9条排出基準 鉱油 5mg/L以下

海洋汚染防止法

法第4条 船舶からの油の排出の禁止 潤滑油(鉱油)

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(法2条化学物質)

優先評価化学物質 : 2,6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール

廃棄物処理法

産業廃棄物

整理番号	263852	製品名	39209U0300 グリース
作成改訂日	2023年7月11日	会社名	住鉱潤滑剤株式会社

16 その他の情報

引用文献

JIS Z 7253 (2019)
NITE(独立行政法人製品評価技術基盤機構)ホームページ

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。この情報は新しい情報を入手した場合、追加又は改訂されることがあります。又、注意事項は通常の取扱いを対象にしたものですので、特別な取扱いをする場合には、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

制定日:2021 年 10 月 28 日
改訂日:2023 年 8 月 9 日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名　発熱シート(自動車部品用発熱体　、　品目コード:EE02691-Z0A)
会社名　NOK 株式会社
住所　東京都港区芝大門 1-12-15
担当部門　ガスケット・ブーツ事業部　設計部
担当部門住所　静岡県牧之原市地頭方 590-1
電話番号　0548-58-1260　FAX 番号　0548-58-1746
用途と使用上の制限　使用時、外袋から内袋を取り出すことにより、空気中の酸素と成分中の鉄粉および水が反応して発熱する。

2. 危険有害性の要約

GHS 分類
物理化学的危険性　:　分類基準に該当なし
健康に対する有害性:　分類基準に該当なし
環境に対する有害性:　分類基準に該当なし

GHS ラベル要素
絵表示又はシンボル:　該当なし
注意喚起語:　該当なし
危険有害性情報:　該当なし

注意書き
【安全対策】
内袋から内容物を取り出さない。
周辺で高温物、スパーク、火気を使用しない。
自動車部品用以外の用途で使用しない。
【応急処置】
内容物が目に入った場合は、直ちに大量の清浄な流水で洗浄し医師の診断を受ける。
高温の製品が皮膚に触れた場合は、直ちに水で冷やし医師の診断を受ける。
内容物を多量に飲み込んだ場合は、吐かせた後、医師の診断を受ける。
【保管】
外袋を傷つけると製品に酸素が流入し、使用前に反応が終了してしまうので注意する。
高温、多湿および直射日光を避け、涼しいところに保管する。
【破棄】
使用後は市区町村の区分に従って破棄する。
【他の危険性情報】
有害性:　該当なし
物理的及び化学的危険性:　該当なし
分類の名称(分類基準は日本式):該当なし

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別:　混合物

成分	CAS 番号	化学式	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	含有量 (%)
鉄粉	7439-89-6	Fe	—	40～55
水	—	H_2O	—	20～30
活性炭	7440-44-0	C	—	5～15
塩化カリウム	7447-40-7	KCl	1-228	4～7
吸水性樹脂	—	—	—	2～5
バーミキュライト	1318-00-9	—	—	3～7

危険有害成分:　なし

4. 応急措置

目に入った場合: 内容物が目に入った場合は、直ちに多量の清浄な流水で 15 分以上洗浄し(できればコンタクトレンズは外す)、医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合: 付着した身体部位を多量の水またはシャワーで洗い流す。
高温の製品が皮膚に触れた場合は、直ちに水で冷やし医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合: 内容物を多量に飲み込んだ場合は、吐かせた後、医師の診断を受ける。

吸入した場合: 特になし。

応急措置をするものの保護:特になし。

医師に対する特別注意事項:特になし。

5. 火災時の措置

消火剤: 大量の水、二酸化炭素や粉末消火剤を使用する。

消化方法: 消火作業は風上から行う。
少量の製品が火災になった場合には、水で消化する。
大量の製品が火災になった場合には、大量の水で消化した後、堆積させず薄く均一にして放置し、完全に酸化させる。

火災時の特定危険有害性:特になし。

消化を行なうものの保護: 消化作業の際は、保護具を着用する。

6. 漏洩時の措置

人体に対する注意事項: 内容物が漏出した場合、直接皮膚に触れないようにし、内容物の酸化反応終了後に清掃処理する。

環境に対する注意事項: 内容物が漏出した場合、河川や下水へ流出しないよう注意する。

封じ込め・浄化方法及び器材:内容物が漏出した場合、こぼれた内容物をほうき等でかき集め、水をかけてから適切な容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い:

技術的対策:

取扱い者の暴露防止: 内袋から内容物を取り出さない。

火災・爆発の防止: 周辺で高温物、スパーク、火気を使用しない。

その他の注意: 自動車部品用以外の用途で使用しない。

注意事項: 外袋を傷つけると製品に酸素が流入し、使用前に反応が終了してしまうので注意する。

安全取扱い注意事項: 外袋に表記した使用上の注意に従って取り扱う。

保管

適切な保管条件:高温、多湿及び直射日光を避け、涼しい所に保管する。有効期限は 3 年以内とする。

接触回避: 酸化剤、強酸類

安全な容器包装材料:当社仕様の外袋を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策:特になし。

許容濃度・管理濃度:

日本産業衛生学会(2020 年) 該当なし

ACGIH(2020 年度) 該当なし

設備対策:特になし。

保護具

呼吸器の保護具: 特になし。

手の保護具: 外袋から取り出すと発熱し、高温になるので取り扱い時は保護手袋を着用する。

目の保護具: 特になし。

皮膚及び身体の保護具: 特になし。

9. 物理的及び化学的性質

製品については情報を有していないため、内容物について記す。

物理的状態:

状態:	含水率 20～30%の湿粉体
色:	黒色
臭い:	ほぼ無臭

物理的状態が変化する特定の温度／温度範囲

融点・凝固点:	融点 1535℃(鉄粉)
初留点・沸点:	データなし
引火点:	データなし
蒸発速度:	データなし
火炎燃焼性(固体、気体):	データなし
上現・下限、引火または爆発限界:	データなし
蒸気圧:	データなし
蒸気密度:	データなし
相対密度:	データなし
溶解度:	水に不溶
自然発火温度:	データなし
分解温度:	データなし
粘度:	データなし

10. 安全性及び反応性

化学的安定性及び反応性: 外袋がシールされている状態では安定である。
外袋から内袋を取り出すことにより、空気中の酸素と成分中の鉄粉及び水が反応して発熱する。
社団法人　日本海事検定協会の危険性評価で「危険物船舶運送及び貯蔵規則」に定める可燃性物質類、自然発火性物質(自己発熱性物質)に該当しないと判定されている。

避けるべき条件(静電放電、衝撃、振動等):特に情報を有していない。

混触危険物質:	特に情報を有していない。
危険有害な分解生成物:	特に情報を有していない。

11. 有害性情報

急性毒性

急性経口毒性:	データなし。
急性吸入毒性:	データなし。
急性経皮毒性:	データなし。
皮膚腐食性・刺激性:	特に情報を有していない。
眼に対する重篤な損傷・刺激性:	特に情報を有していない。
呼吸器感作性または皮膚感作性:	特に情報を有していない。
生殖細胞変異原性:	特に情報を有していない。
発がん性:	特に情報を有していない。
生殖毒性:	特に情報を有していない。
特定標的臓器・全身毒性:	特に情報を有していない。
吸引性呼吸器有害性:	特に情報を有していない。

12. 環境影響情報

生態毒性(水生及び陸生):	特に情報を有していない。
残留性・分解性:	特に情報を有していない。
生物蓄積性:	特に情報を有していない。
土壌中の移動度:	特に情報を有していない。
他の有害物質:	特に情報を有していない。

13. 廃棄上の注意

廃棄残留物:	使用後は市区町村の区分に従って廃棄すること。
汚染容器・包装:	特に情報を有していない。

14. 輸送上の注意

国内規制:	規制なし。
国際規制:	規制なし。
輸送時の注意事項:	特別な場合以外、当社製の梱包材にて輸送する。 転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

労働安全衛生法、消防法、毒物及び劇毒物取締法、PRTR 法、船舶安全法、航空法の適用はない。

16. その他の情報

引用文献等:特になし。

①記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をするものではありません。
②新たな情報が入手された場合には、予告なく改訂される場合があります。
③注意事項は通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な条件で使用される場合はには、用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。

制定日　2021年2月18日
改訂日　2024年7月31日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	溶着剤　（品目コード:EE02692-Z0A）
会社名	NOK株式会社
住所	東京都港区芝大門1-12-15
担当部門	ガスケット・ブーツ事業部　設計部
担当部門住所	静岡県牧之原市地頭方590-1
電話番号	0548-58-1260
FAX番号	0548-58-1746
推奨用途	接着剤
使用上の制限	所定の用途以外に使用しないこと。

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

物理化学的危険性	引火性液体 区分2
健康有害性	急性毒性（吸入：蒸気） 区分4
	皮膚腐食性／刺激性 区分2
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 区分2A
	生殖細胞変異原性 区分2
	発がん性 区分1B
	生殖毒性 区分1B
	特定標的臓器毒性（単回ばく露） 区分1（肝臓 呼吸器 中枢神経系）
	特定標的臓器毒性（単回ばく露） 区分3（麻酔作用 気道刺激性）
	特定標的臓器毒性（反復ばく露） 区分1（肝臓呼吸器中枢神経系）
環境有害性	水生環境有害性 短期（急性） 区分3
	水生環境有害性 長期（慢性） 区分3
	上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しない（分類対象外）か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示

注意喚起語	危険
危険有害性情報	H225 引火性の高い液体及び蒸気
	H315 皮膚刺激
	H319 強い眼刺激
	H332 吸入すると有害
	H335 呼吸器への刺激のおそれ
	H336 眠気又はめまいのおそれ
	H341 遺伝性疾患のおそれの疑い
	H350 発がんのおそれ
	H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
	H370 肝臓、呼吸器、中枢神経系の障害
	H372 長期にわたる、又は反復ばく露による肝臓、呼吸器、中枢神経系の障害
	H412 長期継続的影響によって水生生物に有害
注意書き	
安全対策	使用前に取扱説明書を入手すること。（P201）

	全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)
	熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。(P210)
	容器を密閉しておくこと。(P233)
	容器を接地しアースをとること。(P240)
	防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用すること。(P241)
	火花を発生させない工具を使用すること。(P242)
	静電気放電に対する措置を講ずること。(P243)
	ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。(P260)
	取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
	取扱い後はよく眼を洗うこと。(P264)
	この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
	屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。(P271)
	環境への放出を避けること。(P273)
	保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)
応急措置	皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。(P302+P352)
	皮膚又は髪に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。(P303+P361+P353)
	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)
	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。(P308+P311)
	気分が悪いときは医師に連絡すること。(P312)
	気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。(P314)
	特別な処置が必要である。(P321)
	皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。(P332+P313)
	眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。(P337+P313)
	汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P362+P364)
	火災の場合：消火するために適切な消火剤を使用すること。(P370+P378)
保管	換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。(P403+P233)
	換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。(P403+P235)
	施錠して保管すること。(P405)
廃棄	内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物
化学名又は一般名	ポリウレタン系接着剤

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
ポリウレタン等	1%～10%	–	登録有り	登録有り	登録有り
テトラヒドロフラン	40%～49%	C_4H_8O	(5)-53	既存	109-99-9
N，Nージメチルーホルムアミド	5%～15%	$HCON(CH_3)_2$	(2)-680	既存	68-12-2
ジブチルエーテル	25%～35%	$CH_3(CH_2)_2CH_2O$ $CH_2(CH_2)_2CH_3$	(2)-363	既存	142-96-1
Nーメチルー2ーピロリドン	1%～10%	C_5H_9NO	(5)-113	既存	872-50-4

労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2第1項、施行令第18条の2第1号～第2号別表第9）	N，Nージメチルホルムアミド（法令指定番号：298）（12%）
		Nーメチルー2ーピロリドン（法令指定番号：588の3）（7.0%）
		テトラヒドロフラン（法令指定番号：367）（47%）
	がん原性物質（安衛則第577条の2第5項、令和4年12月26日告示第371号、令和4年12月26日基発1226第4号）	N，Nージメチルホルムアミド
	皮膚等障害化学物質等・皮膚吸収性有害物質（安衛則第594条の2第1項、令和4年5月31日基発0531第9号、令和5年7月4日基発0704第1号・4該当物質の一覧）	N，Nージメチルホルムアミド
		Nーメチルー2ーピロリドン
		テトラヒドロフラン
労働安全衛生法に基づくラベル表示・SDS交付等の義務対象物質（令和7年4月1日施行予定分）	名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条の2別表第2）	N，Nージメチルホルムアミド（法令指定番号：1069）（12%）
		Nーメチルー2ーピロリドン（法令指定番号：2108）（7.0%）
		ブチルエーテル（法令指定番号：1731）（27%）
化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）	第1種指定化学物質（法第2条第2項、施行令第1条別表第1）	N，Nージメチルホルムアミド（管理番号：232）（12%）
		Nーメチルー2ーピロリドン（管理番号：746）（7.0%）
		テトラヒドロフラン（管理番号：674）（47%）

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
	気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	多量の水と石鹸で洗うこと。
	皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
	汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
	医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合	水で口の中をよく洗い、直ちに医師の診断を受ける。無理に吐き出させないようにする。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	めまい,頭痛，吐き気を催した場合、速やかに作業を中止し、新鮮な空気を吸入する。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	特になし
医師に対する特別な注意事項	有機溶剤中毒と同様な処置が必要である。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	粉末・二酸化炭素・泡・乾燥砂
使ってはならない消火剤	水
火災時の特有の危険有害性	溶剤蒸気濃度により爆発の危険性があるので注意する。当該製品は分子中に炭素を含有しているため、燃焼ガスには一酸化炭素等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際に煙を吸入しないよう注意する。
特有の消火方法	水を消火に用いてはならない。適切な保護具を着用して風上から消火する。周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	耐熱性保護衣を着用するほか、不浸透性手袋・有機溶剤ガス用防毒マスク等の保護具を着用して風上から消火する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業の際には、必ず不浸透性手袋，有機ガス用防毒マスクを着用する。
環境に対する注意事項	河川等へ排出され、環境への影響を起こさないよう注意する。大量の流出には、盛り土などで囲って流出を防止する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。乾燥砂，土，その他の不燃性のものに吸着させて回収する。付着物，廃棄物などは、関係法規に基づいて処置をすること。
二次災害の防止策	付近の着火源，高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。衝撃，静電気などで火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

		消防法、労働安全衛生法等の法令に定めることに従う。
取扱い		火気厳禁
	技術的対策	取扱い設備は、防爆型を使用する。排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする。換気の良いところで取り扱う。容器はその都度密栓する。周囲で、火気，スパーク，高温物の使用を禁止する。
		静電気対策のため、装置等は接地し、電機機器類は防爆型（安全増）を使用する。
	安全取扱注意事項	密閉された場所における作業には、充分な局所排気装置を付け、適切な保護具を付けて作業する。
	接触回避	『10. 安定性及び反応性』を参照。
	衛生対策	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

保管	安全な保管条件	直射日光を避け、容器を密閉し5～35℃で保管する。通風を良くし、蒸気が滞留しないようにする。使用後は密栓して貯蔵する。
	安全な容器包装材料	最初の容器内でのみ保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度（産衛学会）	許容濃度（ACGIH）
テトラヒドロフラン	50ppm	50ppm(148mg/m³)(皮)	設定あり
N, N-ジメチルホルムアミド	10ppm	10ppm(30mg/m³)(皮)	設定あり
ジブチルエーテル	未設定	未設定	未設定
N-メチル-2-ピロリドン	未設定	1ppm(4mg/m³)(皮)	未設定

	厚生労働大臣が定める濃度の基準	
	8時間濃度基準値	短時間濃度基準値／天井値
テトラヒドロフラン	未設定	未設定
N, N-ジメチルホルムアミド	未設定	未設定
ジブチルエーテル	未設定	未設定
N-メチル-2-ピロリドン	未設定	未設定

許容濃度（ACGIH）参照先：https://www.acgih.org/

設備対策		蒸気を吸入しないように、局所排気装置の設置、設備の密閉化又は全体換気を適正に行うことが望ましい。
保護具	呼吸用保護具	有機ガス用防毒マスク、濃度が高い場合は送気マスクまたは空気呼吸器
	手の保護具	不浸透性手袋
	眼、顔面の保護具	側板付き普通眼鏡型又はゴーグル型保護眼鏡
	皮膚及び身体の保護具	耐油性・静電防止用の長袖作業衣、安全靴

9. 物理的及び化学的性質

物理状態		液体
形状		液体
色		緑色
臭い		特異臭
融点／凝固点		0℃以下
沸点又は初留点及び沸点範囲		66～202℃
可燃性		データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	下限	1.3%
	上限	16%
引火点		-17℃
自然発火点		194℃
分解温度		データなし
pH		データなし
動粘性率		データなし
溶解度		水に難溶。テトラヒドロフランに溶解。
n-オクタノール／水分配係数		データなし
蒸気圧		含有する溶剤は揮発性あり
密度及び／又は相対密度		約0.89/cm3(20℃)
相対ガス密度		データなし

粒子特性		データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	通常の取扱い条件においては安定。
危険有害反応可能性	酸化剤との接触を避ける。
避けるべき条件	火気、高温、静電気等。
混触危険物質	強酸化剤、酸。
危険有害な分解生成物	燃焼により一酸化炭素等の有毒ガスが発生する。

11. 有害性情報

急性毒性	経口	分類結果は区分に該当しないが、毒性未知成分が1%以上のため、分類できないとした。
	経皮	分類結果は区分に該当しないが、毒性未知成分が50%以上のため、分類できないとした。
	吸入	気体：GHS定義による気体ではない。 蒸気：分類結果より区分4とした。 ミスト：データ不足のため、分類できないとした。
皮膚腐食性／刺激性		区分2の成分合計が濃度限界(10%)以上のため、区分2とした。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性		眼区分2Aの成分合計が濃度限界(10%)以上のため、区分2Aとした。
呼吸器感作性		データなし
皮膚感作性		データなし
生殖細胞変異原性		N，N-ジメチルホルムアミドが≧1%のため、区分2とした。
発がん性		N，N-ジメチルホルムアミドが≧0.1%のため、区分1Bとした。
生殖毒性		N，N-ジメチルホルムアミドが≧0.3%のため、区分1Bとした。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）		テトラヒドロフランが≧10%のため、区分1(中枢神経系)とした。 ジブチルエーテルが≧10%のため、区分1(肝臓)とした。 ジブチルエーテルが≧10%のため、区分1(呼吸器)とした。 区分3(麻酔作用)の成分合計が≧20%のため、区分3(麻酔作用)とした。 区分3(気道刺激性)の成分合計が≧20%のため、区分3(気道刺激性)とした。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）		テトラヒドロフランが≧10%のため、区分1(肝臓)とした。 テトラヒドロフランが≧10%のため、区分1(呼吸器)とした。 テトラヒドロフランが≧10%のため、区分1(中枢神経系)とした。
誤えん有害性		データ不足の為、分類できないとした。

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期（急性）	(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3が濃度限界（25%）以上のため、区分3とした。
水生環境有害性 長期（慢性）	(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3が濃度限界（25%）以上のため、区分3とした。
生態毒性	LC50(96h) 2160mg/L魚類(ﾌｧｯﾄﾍｯﾄﾞﾐﾉｰ)(テトラヒドロフラン) LC50(96h) >100mg/L魚類(ﾋﾒﾀﾞｶ)(N,N-ｼﾞﾒﾁﾙﾎﾙﾑｱﾐﾄﾞ)

	LC50(96hr) >500mg/L魚類(ﾆｼﾞﾏｽ)□(N-ﾒﾁﾙ-2-ﾋﾟﾛﾘﾄﾞﾝ)
	LC50(48h) 26mg/L甲殻類(ｵｵﾐｼﾞﾝｺ)□(ｼﾞﾌﾞﾁﾙｴｰﾃﾙ)
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上、処理を委託する。
汚染容器及び包装	空容器を廃棄するときは、内容物を完全に除去した後に産業廃棄物処理業者に委託する。

14. 輸送上の注意

国際規制	海上規制情報	IMOの規定に従う。
	UN No.	1133
	Proper Shipping Name	ADHESIVES
	Class	3
	Packing Group	Ⅱ
	Marine Pollutant	Not applicable
	Liquid Substance Transported in Bulk According to MARPOL 73/78, Annex Ⅱ, the IBC Code	Not applicable
	航空規制情報	ICAO／IATAの規定に従う。
	UN No.	1133
	Proper Shipping Name	ADHESIVES
	Class	3
	Packing Group	Ⅱ
国内規制	陸上規制	該当しない
	海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
	国連番号	1133
	品名	接着剤
	国連分類	3
	容器等級	Ⅱ
	海洋汚染物質	非該当
	MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質	非該当
	航空規制情報	航空法の規定に従う。
	国連番号	1133
	品名	接着剤
	国連分類	3
	等級	Ⅱ

特別の安全対策	容器の漏れのないことを確かめ、転倒・落下・損傷のないように積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。溶剤を含有しているので火気厳禁。その他、消防法・船舶安全法等の法令に定めるところに従う。
緊急時応急措置指針番号	128

15. 適用法令

労働安全衛生法	第2種有機溶剤等（施行令別表第6の2・有機溶剤中毒予防規則第1条第1項第4号） 作業環境評価基準（法第65条の2第1項） 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第1号～第2号別表第9） 危険物・引火性の物（施行令別表第1第4号） 健康障害防止指針公表物質（法第28条第3項・厚労省指針公示） 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2第1項、施行令第18条の2第1号～第2号別表第9） ・テトラヒドロフラン（法令指定番号：367）（47%） ・N，N－ジメチルホルムアミド（法令指定番号：298）（12%） ・N－メチル－2－ピロリドン（法令指定番号：588の3）（7.0%） がん原性物質（安衛則第577条の2第5項、令和4年12月26日告示第371号、令和4年12月26日基発1226第4号） ・N，N－ジメチルホルムアミド 皮膚等障害化学物質等・皮膚吸収性有害物質（安衛則第594条の2第1項、令和4年5月31日基発0531第9号、令和5年7月4日基発0704第1号・4該当物質の一覧） ・テトラヒドロフラン ・N，N－ジメチルホルムアミド ・N－メチル－2－ピロリドン
労働安全衛生法に基づくラベル表示・SDS交付等の義務対象物質（令和7年4月1日施行予定分）	名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第2号～第3号、安衛則第30条別表第2） 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条の2別表第2） ・ブチルエーテル（法令指定番号：1731）（27%） ・N，N－ジメチルホルムアミド（法令指定番号：1069）（12%） ・N－メチル－2－ピロリドン（法令指定番号：2108）（7.0%）
毒物及び劇物取締法	非該当
化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）	第1種指定化学物質（法第2条第2項、施行令第1条別表第1） ・テトラヒドロフラン（管理番号：674）（47%） ・N，N－ジメチルホルムアミド（管理番号：232）（12%） ・N－メチル－2－ピロリドン（管理番号：746）（7.0%）

化審法	優先評価化学物質（法第2条第5項）
消防法	第4類引火性液体、第一石油類非水溶性液体
外国為替及び外国貿易法	輸出貿易管理令別表第1の16の項
船舶安全法	引火性液体類（危規則第3条危険物告示別表第1）
航空法	引火性液体（施行規則第194条危険物告示別表第1）
港則法	その他の危険物・引火性液体類（法第20条第2項、規則第12条、危険物の種類を定める告示別表）
道路法	車両の通行の制限（施行令第19条の13、（独）日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2）

16. その他の情報

参考文献	NITE　GHS分類結果データベース（製品評価技術基盤機構） 原材料の安全データシート（原材料メーカー）
その他	①危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取り扱いには充分注意してください。 ②この安全データシートは、当社の製品を適正にご使用いただくために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常の取り扱いを対象としたものです。 ③本製品は、この安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取り扱って下さい。 ④ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報やメーカー所有の知見によるものですが、これらのデータや評価は、いかなる保証もするものではありません。また法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。